

平成18年度山形県試験研究機関試験研究課題 事前評価結果報告書

平成18年9月 山形県研究評価委員会

1 平成18年度実施予定課題の事前評価について

(1) 評価の目的

効果的・効率的な研究を促すことを目的とし、新たな研究を進める際には、外部の専門家等からのアドバイスや事前評価を受け、その必要性や実行可能性について検証しつつ、研究計画の精査や内容のレベルアップに努めることが重要である。

(2) 評価の視点

課題の設定や研究計画の内容について、目的の明確性、研究進度に応じた熟度、成果波及の可能性、研究手法の妥当性の視点で評価を行った。

(3) 評価の実施課題と方法

対象課題は、平成18年度実施予定課題で平成18年度の競争的資金への応募等により新たに研究に取り組む課題のうち、これまでに研究評価を受けていない工業技術センターの12課題について事前評価を実施した。課題のうち公募型研究は5課題、一般研究は7課題であった。

これらの課題について、8月に全て書面で評価し、研究計画への質疑等を行ったうえで、意見および評価をとりまとめた。

2 事前評価の結果について

事前評価を実施した課題については、評価結果およびコメントを付して各部局に評価結果を通知するとともに、県のホームページで公表する。個別課題の結果と意見は次のとおりである。

評価結果		研究 課題数
・今後の研究展開が期待でき、要求どおり措置し、実施すべき課題 ・公募型研究課題にあっては、今後の研究展開が期待でき、申請を妥当とする課題		2
・概ね的確であるが、さらに研究計画を精査し、または研究を特化したうえで実施すべき課題 ・公募型研究課題にあっては、申請を妥当とする課題		10
次の事項に係る研究会の実施等から取組みが求められる課題 ・研究の手法、競合研究や周辺特許などの状況について調査・学習 ・市場性、マーケティング戦略、研究や産業化の実現可能性等の調査検証 ・公募型研究課題にあっては、申請内容の見直しをして進めるべき課題		
提案内容について今後さらなる検討を要する課題	×	

平成18年度 県試験研究機関 試験研究課題 事前評価

整理番号	区分	研究課題名	所属	評価結果	評価委員会 助言・指導
1	公募	多孔質・高強度建材に向けた低温焼結体の創成	工業技術センター		本県の資源の有効活用の点からも有用な研究である。他機関の研究動向を踏まえ、力学・材料両面の技術課題を明確にしたうえで、計画的に研究を進められることを期待します。
2	公募	精密重合法による多機能性ポリマーの合成と高性能塗膜としての応用	工業技術センター		目標とする成果を絞り込み、出口を明確に設定したうえで取組まれることを期待します。
3	公募	新規鑄造材料を用いた金型技術の高度化	工業技術センター		全体的に意欲的な企画を展開されており、個々の課題の研究計画も独創的でまとまっています。ただ、テーマが大きいことから、全体の研究計画とそのフローを常に明確にしたうえで取組まれることを期待します。
4	公募	CNT複合めっき被膜を用いた高性能・高寿命電着工具の開発	工業技術センター		将来性のあるテーマで今後の研究展開が期待できます。実施にあたっては、基礎研究と具体的応用展開をイメージした実用化研究との両面を見据えて研究を進めていただきたい。
5	公募	ナノメートルレベルの研削加工現象解明による超高度精密機上工具成形・加工技術の開発	工業技術センター		研究課題をより明確にしたうえで実用化を見据えた取り組みをされることを期待します。
6	一般	有用乳酸菌の分離と利用技術の開発	工業技術センター		他機関の動向も踏まえ、単に網羅的に進めるだけでなく、体系的な手法を獲得されるような展開を期待します。慶應先端生命研などの連携も考慮されるのも有効ではないかと思われます。
7	一般	鉛フリーはんだの組成管理技術の確立	工業技術センター		企業ニーズに応え、的確な成果を還元されたい。基準と評価法を明確に持って管理できる手法の確立を期待します。
8	一般	石英ガラスの高品位繊細溝加工技術の開発	工業技術センター		企業ニーズに応えるものであり、的確な成果を還元されたい。開発技術の位置づけを意識しながら、加工技術の完成を期待します。
9	一般	プラスチック製光学部品の金型加工技術・成形技術の確立	工業技術センター		企業のニーズに応えるものであり、的確な成果を還元されたい。またその際、達成目標を明確にし、知財戦略を持って臨まれることおよびこれらの課題から新たな研究テーマに発展することを期待します。
10	一般	超音波振動を用いた機能性複合めっき被膜の改良と微細工具の応用	工業技術センター		企業ニーズに応える的確な成果を還元されたい。その際、基礎的な検討を怠りなく、達成目標を明確にし、知財戦略を持って臨まれるとともに新たな手法の完成を期待します。
11	一般	集束イオンビームによる単結晶ダイヤモンド工具の切れ刃成形	工業技術センター		企業ニーズに応える的確な成果を還元されたい。その際、克服すべき課題を明確にしたうえで計画的に進め、知財戦略を持って臨まれることを期待します。
12	一般	発光ダイオード封止樹脂用金型加工技術の開発	工業技術センター		企業ニーズに応える的確な成果を還元されたい。その際、関連要因を整理し計画的な取り組みでよりよい成果を上げることを期待します。